

キャラクター名 ラーシィ・センビュート プレイヤー名 \_\_\_\_\_

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	軍師	性別	男	年齢	27~29(2年後)
冒険者Lv	15	経歴	母親を若くして亡くした		
経験点	10700		昔は捻くれていた 大切な約束をしている		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	8	16		31	5		ファイター		15
体	8	敏捷度	5	1		13	2	コンジャラー	3		
		筋力	12	15		35 + 2	6	プリースト/騎士神ザイア	15		
心	6	生命力	8	6		22	3	レンジャー	1		
		知力	12	14		32	5	セージ	9		
		精神力	10	10		26	4	エンハンサー	9		

戦闘特技			
タフネス	2122p	武器習熟A/ソード	IB31 p
ルーンマスター	IB34 p	魔力撃	IB39 p
バトルマスター	3143p	ダブルキャスト	IB37 p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
魔法拡大/数	226 p		p
両手利き	223 p		p
二刀流	221 p		p
MP軽減/プリースト	223 p		p
マルチアクション	2125p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドレイク語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
バジリスク語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ	流麗なる俊陣Ⅲ・浮身	
ガゼルフット	流麗なる俊陣Ⅳ・残影	
マッスルベアー	怒涛の攻陣Ⅲ・轟炎	
ビートルスキン	怒涛の攻陣Ⅳ・爆焰	
スフィンクスノレッジ	流麗なる俊陣Ⅴ・水鏡	
デーモンフィンガー	真道の陣	
リカバリア	絆の陣	
ジャイアントアーム		
ケンタウロスレッグ		
神速の構え		
軍師の知略		
怒涛の攻陣Ⅱ・烈火		
流麗なる俊陣Ⅱ・陽炎		
鉄壁の防陣Ⅱ・堅体		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	15	20	17	21
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク					
鎧	イスカイアの魔導鎧(B)	筋力	20	回避力	0	防護点	7
盾							
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							2
回避技能	ファイター	合計値	17				10

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ディフェンダー：扶郎花(ふるうか) <small>防護点+1、器用度+2、魔法の発動体、オーダメイト武器(必弱+3、威力+3)</small>	1H	15	1	2d+ 21	10	23	20										
ディフェンダー：扶郎花(ふるうか) <small>防護点+1、器用度+2、魔法の発動体、オーダメイト武器(必弱+3、威力+3)</small>	1H	15	1	2d+ 21	10	23	20										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	13 m	39 m

回避	防護点
2d+ 17	10

HP
84

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	3	8			
神聖魔法	15	20			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 15	2d+ 15

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 18	2d+ 20

MP
82

装備品	説明
頭 軍師徽章(専用化)	鼓砲を使用可能、HP2アップ
耳 ゴールドン耳栓	呪歌に対する抵抗+2、周囲の音は普通に聞こえる
顔 ひらめき眼鏡	見識判定+1、探索判定+1
首 祈りのアミュレット(専用化)	術者の回復力+1、MP2アップ
背中 英雄のマント	すべてのプレス攻撃の算出ダメージ-2
右手 怪力の腕輪	
腰 ブラックベルト	防護点+1
足 跳躍の羽	飛んでいる敵に近接ダメージ+2
その他 聖印	神聖魔法を使用可能

装備品	説明
左手 信念のリング	

— その他メモ —

由都市同盟のエイラスにある弱小貴族、センビュート家の長男。貴族といっても弱小なので平民に対する差別意識がなく、気軽に話しかけられるほど町の人との仲が良い。父を尊敬しており、剣術や軍師の教育を彼から学んだ。10年前のドレイク戦争では市民の誘導や治療に専念し、被害を抑えた。しかし、蛮族の組織的攻撃が減った現在では同盟国同士での採め事が絶えなくなり、特に富が集中するバーリントに不満が集まり、父親と共に他の町にも貿易を回すように働きかけていた。しかし、弱小貴族である自分たちでは意見は聞き入れられずこのままでは蛮族に滅ぼされるか、ルクスラに征服されるかのどちらかだと考えたラーシィは、冒険者となり名声を得て自分たちの言い分が通るくらい有名になれば、自分たちの生まれた町を守れると考え旅に出た。自

と書いているが、性格はかなりのナルシストであり黙ってればイケメン。地元の人たちからはナルシのラーちゃんと呼ばれているが本人は嫌がっている。

自動失敗  
チェック  
□□□□⑤  
□□□□⑩  
□□□□⑱  
□□□□⑳  
□□□□㉕  
□□□□㉙  
□□□□㉚

